年間授業計画　様式例

高等学校 令和５年度（2学年用） 教科　　芸術　　科目 書道Ⅱ

教　科：　芸術　　科　目：　書道Ⅱ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組～　F　組

教科担当者：（Ａ～Ｆ組：喜入）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（ 書Ⅱ　光村図書　　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】　芸術に関する各科目の特質について理解するとともに，意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。

科目　書道Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につけるようにする。	書の美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようになる。	主体的に幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 漢仮	表現 漢	表現 仮	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	篆書の用筆 ◎「泰山刻石」の鑑賞・臨書を通して篆書の特徴を捉え，書体に即した用筆・運筆を理解させる。	篆書（小篆）の特徴、左右相称の字形や丸く滑らかな転折，蔵鋒による起筆の確認。書体に即した用筆・運筆を理解して，臨書する。		○		○	「泰山刻石」の表現技法に関心をもち，その美を味わおうとしている。 「泰山刻石」の書風や特徴を理解し，臨書に生かしている。 臨書を通して，小篆の点画の特徴を理解し，それを表現するための用筆・運筆の技法を習得している。	○	○	○	6
	印の多彩な表現を楽しむ ◎印の歴史と印の美を構成する諸要素や，表現方法・形式を理解させる。	多彩な印を鑑賞し，その美を構成する諸要素や，表現方法・形式について分析する。		○		○	印の歴史や表現に関心をもっている。 印の美を構成する諸要素や，表現方法・形式を理解している。 印が長い歴史の中で担ってきた役割を理解している。	○	○	○	4
	姓名印を刻そう ◎書体や書風，配字による表現の効果を理解し，感興や意図に応じて構想させる。 ◎篆刻の技能を習得し，個性的に表現させる。	①朱文印の制作手順を理解する。 ②書体や書風，配字による表現の効果を理解して，感興や意図に応じて構想を練る。 ③仕上がりをイメージして，表現や構成を工夫する。		○		○	篆刻に関心をもち，制作に主体的に取り組んでいる。 書体や書風，配字による表現の効果を理解して，感興や意図に応じて構想を練っている。 篆刻制作の手順を理解し，検字や布字，運刀に関する知識や技法を習得している。	○	○	○	12
	姓名印を作品に押してみよう	好きな文字を書き、名前、印の押す場所について考える。		○		○	作品に効果的な場所に印を押すことができる。鮮明に押印することができる	○	○	○	4
2学期	隷書の用筆乙瑛碑　居延漢簡 鑑賞・臨書を通して隷書の特徴を捉え，書体に即した用筆・運筆を理解させる。 草書の用筆，鑑賞・臨書を通して草書の特徴を捉え，書体に即した用筆・運筆を理解させる。	隷書の特徴について話し合い，扁平な字形や水平な横画による構成，蔵鋒による起筆，波磔・波勢を確認する。草書の特徴について話し合い，点画の省略や柔らかく丸みのある転折，線の太さの変化，点画の連続を確認する。		○		○	隷書の多彩な表現技法に関心をもち，その美を味わおうとしている。書風を捉え，工夫して表現している。線質，字形，全体構成など，表現の技能を習得している。隷書の多彩な美を感じ取っている。草書の特徴を捉え，基本的な点画や線質の表し方と用筆の関係を理解して臨書している。臨書を通して，点画の省略や連続の特徴を理解し，それを表現するための用筆・運筆の技法を習得している。	○	○	○	12
	行書の多彩な表情を捉えよう 集王聖教序　温泉銘　祭姪文稿　争坐位文稿 書かれた時代や書き手の個性による行書の多彩な表現を感じ取らせる。 書風や構成の特徴を捉え，書風に即した用筆・運筆を工夫させる。	行書の多彩な表現を感じ取る。 書風に即した用筆・運筆を工夫して，臨書する。		○		○	表現技法に関心をもち，その美を味わおうとしている。 書風を捉え，工夫して表現している。 線質，字形，全体構成など，表現の技能を習得している。　行書の多彩な美を感じ取っている。	○	○	○	12
3学期	漢字仮名交じりの書 ◎表現のねらいに基づいて構想を練り，これまでに学習した書体・書風や紙面構成，用具・用材に関する知識・技能を生かして，工夫して表現させる	古典の書風を分析し，創作のポイントを確認する。 書風を分析し，創作のポイントを確認する。表現効果と参考古典の関係を意識しながら構想を練り，創作する。	○			○	古典の書風を生かして作品を創作することに関心をもっている。 作品のテーマと書風の関連性を意識し，表現のねらいに対する技法上の工夫とその効果を的確に捉え，創作の構想に生かしている。表現の工夫によって，多彩な書の表現が生まれることを理解し，古典の書風と表現例を関連づけて分析している	○	○	○	10
	楷書細字　実用にも生かすことができるよう小筆による細字に取り組ませ、字形を的確にとらえ、運筆できるようになる。	楷書の字形を捉える。楷書の用筆を確認する		○		○	楷書の美に対して興味・関心の幅をもち，その美しさを味わおうとしている。楷書の多彩な表現を理解し，特徴を生かした表現の工夫をしている。，用筆・運筆の技法を習得している。 時代や地域の違いが作品に反映されていることを理解している。	○	○	○	10 合計 70